

第6回 学校再編検討会

議事概要

日時: 令和3年8月18日(水)
場所: 市役所3階 第1会議室
14:50~15:50

1 あいさつ (小林教育長)

- ・直前の定例教育委員会で行った挨拶に代えさせていただく。

2 協議事項

(1) 学校再編検討会 会議録について

⇒第4回、第5回の議事概要の誤字脱字、結論部分表現を再度確認。

(2) 芦原中学校区統合小学校の校地選定に係る基本的な考え方について

別紙(資料)に沿って学校教育課長説明。校地を選定する場合には教育委員会の議論だけではなく、別途委員会の立ち上げが必要ではないかと考えていることを説明。

- ・校地選定委員会のメンバーはどのような方を選考すればよいのか考えたい。
- ・構成するメンバーを決めることも大切だが、委員会で検討する際の条件もある程度提示する必要があるのではないか。審議会の答申にあるように、中学校にできるだけ近い立地であるとか、現状の学校敷地面積を下回らないことや交通の便がよいなど抽象的であっても条件があればゼロから検討するよりも考えやすいように思う。
- ・条件となると、中学校にできるだけ近くであること、現状の学校敷地面積が維持できること、通学しやすく交通の便が良いところ等が思いつく。他に考えられることはあるか。個人的には体育施設は学校施設の中で特に費用がかかる施設だと思うので体育館建設にかかる費用を知っておきたい。現在中学校の体育館は2階建て、小学校は1階建ての体育館が学校ごと2館ずつある。プールも各学校にあり子ども達が着替える更衣室の整備は必須。
- ・細かい話ではあるが、スクールバスを運行する場合、ターミナルを学校敷地に用意するのか別に確保するのかでも広さが変わってくる。どこまで検討会で考えるべきか悩む。
ところで、小中学校は3階建ての校舎で造られていることが多いが何か基準があるのか。もし、4階建て以上校舎であっても問題が無いのであれば、学校敷地はある程度小さくても良いと思う。

- ・文部科学省の基準規模と現状の学校敷地の比較をしたい。改めて事務局で資料を用意してほしい。
- ・この検討会のメンバーだけでは校地は決めきれない。やはり、校地選定委員会を設立することとしたいがどうか。また、委員会を設立するのであればいつ設立するのか考えなくてはならない。校地を選定する上での立地条件の他に、通学する子ども達の人数規模や、学校そのものの規模を示して検討していただく方がよいのではないか。
- ・では、校地選定委員会を立ち上げることにする。では、いつ頃設置が良いか考えたい。できるだけ早い方がいいと思うが。
- ・予定では学校再編検討会の議論を12月までにまとめ1月から3月にかけて小学校区ごとに外向き説明会を行い、計画の大筋について理解いただくこととなっている。校地の選定は市民の方の理解が得られてからになるので、どれだけ順調に進んだとしても4月以降になるのではないか。
- ・文部科学省が推奨する規模やハザードマップの危険箇所との兼ね合いもある。追加で資料を事務局で用意してもらい、次回再度検討することとしたいがいかがか。
- ・保育園建設の検討の際には、新たに用地買収することが難しいため、市の所有する土地の中で立地を選定した経過がある。現在の小学校の敷地に建設する以外の選択肢を検討する必要があるので、追加資料には市所有地の情報も盛り込んでほしい。

⇒校地選定は新たに委員会を設置し、委員に検討していただく。次回は委員会で校地を選定する際にどのような条件が必要になるか、文部科学省の定める設置基準や市所有地の有無を踏まえて検討する。

(3) その他

○次回会議予定：9月1日（水）